

令和5年11月15日

各位

〒047-0007 北海道小樽市港町7-2  
株式会社北日本消毒  
代表取締役 湊亨  
お問い合わせ先 DX 推進部  
電話：0134-29-3143

## デジタルトランスフォーメーション戦略の改定に関するお知らせ

弊社・株式会社北日本消毒はデジタルトランスフォーメーション（以下「DX」）戦略を改定いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 経営戦略

現在、北海道において急速な人口減少とそれに伴う過疎化が課題となっております。弊社の位置する後志・小樽地域において、これらに対応したまちづくりが求められています。

弊社は1982年の創業以来、地元の皆様の安心・安全の実現のために業務に邁進してまいりました。微力ではありますが地域のまちづくりに関わらせていただいております。

人口減少と過疎化という地域課題に対応するためには、①**業務効率化**（限られた人手による的確な業務遂行）と②**人材育成**（地域のまちづくりを担う人材育成）が必要となります。

弊社としましてはこの①業務効率化・②人材育成を行うためにDXへ積極的に取り組むことを決定いたしました。詳細は以下のとおりとなります。これらの施策により今後も継続して地元へ貢献してまいります決意です。

また、お客様ニーズを鑑みても、昨今のデジタル技術の進歩により、非対面等の柔軟な対応や時間を問わない迅速な対応が求められています。

このデジタル社会において、弊社は新たに下記ビジョンを掲げてまいります。

～いつでもすぐそばで「早く何とかしてほしい」に応える“爆速”対応カンパニー～

今すぐ困っていることへ、どこよりもクイックなレスポンス、かつ丁寧に対応することでお客様に選ばれる企業を目指してまいります。

### 2. DX 戦略

北日本消毒では以下の3つの事業を柱にDX推進を図ってまいります。

#### (1) 現場の進捗管理／プロジェクト管理の効率化：

これまで紙（アナログ）で行ってございました業務の進捗管理と報告を、DX 実現後はスタッフの iPad 上から行ってまいります。お客様のもとで報告が完了するため、事務所で資料作成をする時間を削減できる他、報告ミス・連絡ミスでお客様に御迷惑をおかけする可能性自体をなくし、お客様に貢献してまいります。

## （２）業務の進捗状況の「見える化」:

お客様のご依頼からお見積書を発行するまでの間、お客様のもとに何度か伺うこととなります。その流れの中には雑用作業に関わる時間が多く潜んでいることが予想されます。DX 実現によりこの雑用作業にかかっている時間を計測することで業務の無駄を洗い出していきます。

結果、お客様をおまたせすることなく迅速なサービス提供・問題解決を図れる組織にしてまいります。

## （３）見積もり作業の効率化・高速化:

これまでは正確を期するあまりお見積もり依頼があった際も実際に訪問し調査するまでは概算額をお伝えすることができていませんでした。DX 実現後はたとえば駆除する害虫ごとにフォームを作っておき、質問項目を埋めていく形で見積書の概算を迅速に出せるようにするなどのスピード対応を実現していきます。それによりお客様の利便性向上に努めます。

## 3. DX 推進のための方策

上記の（１）～（３）の方向性を実現できるよう、業務遂行に関わるツールを作成・修正するほか、これらを束ねたポータルサイト（入口となるホームページ）を作成し、作業効率向上とスタッフの業務改善を行ってまいります。

具体的には下記①～④を実行いたします。

### ①現場の進捗管理／プロジェクト管理の効率化:

これまで紙ベースで対応していた業務進捗管理表をデジタル化するとともに、業務進捗管理表とスケジューラーの連携を図ります。具体的には進捗管理表に次回訪問日程を書く  
と自動的にスケジューラーに反映されるなどの業務改善に努めます。

他にも人工知能（AI）の活用により衛生管理業務の分析レポートを迅速に発行できるようにいたします。

### ②業務の進捗状況の「見える化」:

スタッフが使用する PC・iPad にプログラムをインストールし、現在の作業にかかっている時間を計測します。それにより従業員スキルの可視化を図り、適時社内研修を行うこ

とで人材育成を行ってまいります。

#### ③見積もり作業の効率化・高速化：

専用フォームを作成し、お見積もり依頼があった際その場で概算額をお示しできるようにします。

#### ④データ活用の効率化：

弊社にて承っております定期点検衛生管理業務・物件管理・備品在庫管理・受発注のデジタル化を進め業務効率化を進めます。

### 4. DX 戦略達成度を測る指標

戦略の達成度を図る指標として次のものを検討しております。

#### (1) 1人あたり売上高：

スタッフ1人あたりの売上高を計測することで業務効率化の推進度合いを計測します。

#### (2) 業務1件あたりのバックヤード時間：

報告資料作りやスケジューリングにかかっている時間を計測し、DX 実現によりどれくらい短縮が見られるかを分析していきます。

#### (3) クレーム・ミス発生件数：

DX 実現によりこれらの数値がどれだけ減少したかを計測します。

#### (4) お見積もり作業にかかる時間の計測：

DX 実現によりどれだけ短縮したかを計測します。

#### (5) お問い合わせから初回対応にいたる時間の計測：

お問い合わせから初回対応にいたるまでの時間が DX 実現でどれだけ短縮したかを計測します。

### 5. DX 戦略の推進体制

これまで弊社では社内の状況を改善するため、次の2つのチームを運営してまいりました。

#### 1)現場チーム

5名

## 2)事務所チーム

5名

これらのチームでは社内のモノの整理・整頓を行ってきています。グループリーダーを決めて課題抽出を行い、社内の問題解決をチーム内で実施してきました。ほかにも、報告書などのアナログの情報の整理・整頓も実施してきています。

これらの2つのチームに以下のチームを追加することでDX実現を図ります。

## 3)DX推進チーム

5名（メンバーの重複あり）

実務執行総括責任者：湊（代表取締役）

これまでは情報の整理・整頓において紙などアナログを用いた手法で対応してきました。現状ではその限界が出てきています。そのためこれまで紙ベースで情報管理をしていた仕様をそのまま使えるような形でのアプリ／システム開発を行うことで業務効率化・人材育成を図ります。

推進においてはDX推進チームのなかで勉強会を開き、外部のコンサルタントも入れる形で弊社の状況にあった情報管理の方法や管理アプリ／ポータルサイト作成を行っていきます。

地元である後志・小樽地域におけるDX推進のモデル企業となれるよう今後も粉骨碎身の思いで取り組んでまいります。

以上です。

# 情報セキュリティ基本方針

株式会社 北日本消毒(以下、当社)は、お客様からお預かりした/当社の/情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるべく、以下の方針に基づき全社で情報セキュリティに取り組みます。

## 1.経営者の責任

当社は、経営者主導で組織的かつ継続的に情報セキュリティの改善・向上に努めます。

## 2.社内体制の整備

当社は、情報セキュリティの維持及び改善のために組織を設置し、情報セキュリティ対策を社内の正式な規則として定めます。

## 3.従業員の取組み

当社の従業員は、情報セキュリティのために必要とされる知識、技術を習得し、情報セキュリティへの取組みを確かなものにします。

## 4.法令及び契約上の要求事項の遵守

当社は、情報セキュリティに関わる法令、規制、規範、契約上の義務を遵守するとともに、お客様の期待に応えます。

## 5.違反及び事故への対応

当社は、情報セキュリティに関わる法令違反、契約違反及び事故が発生した場合には適切に対処し、再発防止に努めます。

制定日 : 令和5年 11 月 15 日

株式会社 北日本消毒

代表取締役社長 湊 亨